



FUTABA JOURNAL

静岡市葵区追手町10-71
静岡双葉学園
新聞部
電話(054)255-0305
印刷所 ササキデザイン社

中二沖縄体験学習



▲じゅごんの里での様子

Experience Nature Ty などの頭文字でもある。1日目はほとんどの時間が移動であったが、夕食後にエイサーを鑑賞することができた。2日目は、まずブセナ海中公園にて美しい海中の風景を

中三生は11月1日から4日にかけて、沖縄体験学習を行った。沖縄の歴史や自然、文化を学ぶ目的とし、事前学習の内容をまとめたレポートなどはおりにまとめられた。今年のスロガンは「CENTI」で中三生徒百人の人数を表すと同時に「Colorful」

て美しい海中の風景を楽しんだ。次にじゅごんの里、佐喜眞美術館、道の駅かでなを順に訪れ、沖縄の米軍基地問題について学んだ。沖縄県民の暮らしの中に溶け込む基地問題について、実際に基地を見たり現地の方のお話を聞いたりして考えを深めることができた。

3日目は、主に沖縄地上戦について学んだ。ひめゆり平和祈念資料館や戦争時に実際に使われたガマ(自然の洞窟)を見学し、当時の過酷な状況を目の当たりにした。その後はおきなわワールドで、各自おみやげを購入したり、玉泉洞を見学したりと楽しい時間を過ごした。夕方には首里城公園を班ごとに見学した。

4日目には、開南教会にて4日間の振り返りを行い、研修旅行は幕を閉じた。移動時間には事前学習の内容をもとに各班の代表のガイダンススピーチが行われ、それもより学びを深める助けとなった。仲間との絆を深め、今まで知る機会がなかった問題に目を向けるきっかけにもなり、充実した4日間であった。

中二生は、10月31日から11月2日の3日間、御殿場の東山荘にて錬成会を行った。3日間行われた講話ではサレジオ会・サレジオ学院チャプレンの榎本飛里神父がお話しいたいた。榎本神父がユーモアを交えつつ、「召命」について話して下さり、皆熱心に耳を傾けていた。2日目の野外活動では、国立中央青少年交流の家にてクラスごとに昼食を作った。それぞれ役割を決めてカレーや豚汁、炊き込みご飯を作り、結束を強めた。

野外活動の後に行われた班活動の発表会では、班ごとに配られた絵本を元にした創作劇を発表した。小道具も全て自分達で作り、短い準備期間だったがどの班も個性的な劇を作り上げた。その夜には錬成会実行委員が企画したキャンプファイヤーが行われた。炎を中心に踊ったり、ゲームをしたりして楽しい時間を過ごした。最終日はミサや閉会式を行い、帰りのバスの中で錬成会の分かち合いをした。3日間について各々振り返り、発表した。講話に野外活動、班活動、キャンプファイヤーと多くのことを経験し、クラスや学年の中での結び付きを強めることの出た錬成会だった。

中一 錬成会 10月23日から御殿場東山にあるY.M.C.A.東山荘で中一錬成会が行われた。生徒は今回の錬成会に向けてたてた目標「生活面で決まりを守る。講話は自分と照らし合わせて聞く。人との関わりで積極的にコミュニケーションをとる。」を意識して過ごした。1日目は田園調布双葉の理事長先生である南部浩士先生が、2日目は本校の理事長である林健久神父様が講話をしてくださった。南部先生は、自分の身近な存在である宝物から生まれる目に見えないものの大切さや、より良い世界を創るために一人一人違う人がいることを学んだ。また林神父様からは、相手と同じ立場に立つと寄り添いの心が生まれることを教えていただいた。ミサでは学

年全体で祈る一体感を感じた。2日目には「ふじさんぽ」と呼ばれる富士山ハイキングが行われた。道が険しくなるにつれ疲れが出てきたが、お互いに励まし合って歩き続けた。下山の際は大きな坂で砂遊びを堪能した。普段味わうことのないような開放感に溢れ、自然と笑顔が生まれた。中一生にとって初めての宿泊行事は、お互いの良さに気づき、たくさんの学びを得ることができた3日間となった。

鍋がおいしい季節がやってきた。野菜から肉魚までさまざまな食材を体を温めながら食べることもできる点から、冬に鍋を囲む家庭も多いだろう。また、鍋料理はバリエーションが豊富であることも魅力。百種類以上もアレンジができる鍋だが、今冬の注目のひとつに「とろみ鍋」が挙げられるという。とろみ鍋とは、具材やスープを工夫し、きのこやとろろ、チーズなどでとろみをつけた鍋のこと。とろみをつけることで、冷めにくく身体を芯から温めることができるそう。とろみは1度温めると冷めにくく、使用する電気エネルギーを削減できる利点も持ち合わせている。良いことづくしの鍋だが、鍋の醍醐味といったらなんとこれもだろ。とろみ鍋の場合、あんかけご飯や煮込みうどんがおすすすめ。鍋のベはずっと食べ進めてきた食材のエキスをひとつにするまとめ役だ。そして鍋のベは、鍋も心もきれいにしてくれる。▼1年間を鍋で例えるならば、今はちょうど鍋のベの時期。1年間の学びをまとめる、今年度のベはどんな味に仕上げられるだろうか。終わりよければ全て良し。今年度の鍋を食べ残しもなく、きれいにべくりたい。

石の声

高2 研修旅行 高2生は4月5日で広島、山口、長崎、福岡へ研修旅行を行った。1日目は広島原爆ドームや厳島神社を訪れた。原爆資料館では、様々な資料や被害者の着ていた服や持っていた物が展示されていた。原爆の悲惨さを実感させられる体験となった。2日目は萩と津和野を訪れ、班ごとに自転車で海や観光地を巡った。3、4日目は長崎の教会を巡った。昔からキリスト教の信仰が厚かった出津文化村では、そこで人々と共に暮らしたド口神父様について学ん



▲平和祈念像と写真を撮る高2生

だ。また、路面電車に乗り、班ごとに長崎の町を巡った。5日目は福岡の太宰府天満宮を訪れ、高3生の受験の成功を祈ったり、来年に控えている自分たちの受験に備えて絵馬を奉納した。高2生はコロナウイルスの影響で中二、中三の宿泊行事が中止であり喜びの中で旅行を楽しんだ。

高1 研修会

10月25日から27日まで富士宮ビーカークラブにて「生きる」をテーマに高1研修会が行われた。スローガンには「シンフォニー」を掲げた。シンフォニーはオーケストラの交響曲としての意味を持つ。自分の音色と自分に出せない他者の音が響き合う合奏のように、他者との関わりの中で互いに足りない点を補い合い、集団として高め合っていくということを目指して3日間過ごした。1日目は神父様のお話を聞き、夜には映画「with...」若き女性芸術作家の生涯

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考



▲丘の上で記念撮影

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

を鑑賞した。1人の女性の信念と行動力に心動かされ、自己を見つめ直すいい機会になった。2日目では「生きる」についてそれぞれ意見をまとめて班で紹介し合い、夜には班別で模造紙を作成し発表会を行った。班で協力し他者の意見に耳を傾け、模造紙にまとめる作業は互いに新たな面を見つめることができた。充実した時間であった。最終日は4回目の神父様のお話を伺い、帰りに白糸の滝へ行き、水の流れや滝の音から自然の悠然とした時間を感じる事ができた。この3日間を通して「生きる」というテーマについて深く考

一面担当 愛樹
二面担当 香那

活躍する雙葉生

平和大使



高1北の中野愛子さんは第26代高校生平和大使として、広島や長崎での研修活動や高校生1万人署名活動の他、スイス・オランダ派遣で国連欧州本部訪問等を行っている。

Q1 高校生平和大使を志したきっかけ。
A1 小学生のときに平和大使の方のお話を伺い、平和について考えたことが大きなきっかけです。

Q2 国連訪問時に印象的だったこと。
A2 レジナル軍縮局長が涙ぐみながら目を見てスピーチを聞いてくださり、「市民である私達が声をより大きく訴えるこ

とが大切だ」とおっしゃったことです。私達の活動の意義や価値を再確認できたと共に、平和な未来を作るためには私達自身も尽きない学習をして行くべきだと感じました。

Q3 平和大使としてのメッセージ。
A3 戦争や社会問題に目を向けるだけでなく行動を起こしてみたいです。



▲ 国連欧州本部を訪問した際の様子



トビタテ

高1南の大石百音さんは夏休み中の約一ヶ月間「トビタテ留学ジャパン」のプログラムでカナダのトロントに留学した。

Q1 参加の動機。
A1 前年度に参加した雙葉生の先輩が学校での説明会をしたことがきっかけで応募を決めました。

Q2 現地ですんだこと。
A2 多様性と法について学びました。カナダは街を歩いていると多様な人種、様々な言語が飛びかかっています。一方ホームレスが沢山おり、多様性が認められているから



▲ ホストファミリーとの交流

一輪車



高2北の築山亜弥さんは、二〇二一、二〇二二全日本一輪車マラソンで2年連続優勝を収めました。

Q1 始めたきっかけ。
A1 姉が一輪車を習っていたので、始めました。4才の頃から13年間習っています。

Q2 一輪車の魅力。
A2 演技では、自分が思った事や感じた事を表現できることです。



▲ 競技中の築山さん

テニス

高2南の成島かれんさんは、令和5年度静岡高等学校新人体育大会中部地区大会優勝、県大会2位を収めた。

Q1 始めたきっかけ。
A1 テニスを習っていた姉に憧れて習い始めました。

Q2 努力していること。
A2 自分のやりたいプレーではなく、勝つ為にやらなければならないプレーをすることです。日々の練習では、素振りをしていきます。また、テニスは体力がとて大切なので2キロのおもりを持ち体幹トレーニングをしたり、ランニングをしたりして体力作りをしています。

TGGでの体験

10月14日、中三人文社会科コースの生徒は、Tokyo Global Gatewayにて体験学習を行った。

施設内では、グループごとにエージェントと呼ばれる外国人スタッフがおり、英語で様々な体験をすることができた。

午前中は、海外の街並みを模したストリートゾーンでホテルや売店のマザー・マチャルドの活動の足跡を辿る「マチャルドツアー」に参加した。

まず、本校と同じくマザー・マチャルドによって設立された横浜雙葉学園を訪ね、姉妹校との交流を楽しんだ。午後には横濱雙葉の生徒の方とマザー・マチャルドらが眠る外国人墓地に向かい、共に祈りを捧げた。

創立一二〇周年という節目の年に、姉妹校の生徒とマザー・マチャルドに想いを馳せた時間だった。

プロの選手の試合も見るように心掛けています。

Q3 自分の強み。
A3 負けず嫌いなところです。勝つ為ならば、全力でテニスボールを追いかけてみます。また、自分のプレースタイルを変えられるところが魅力です。

Q4 テニスの魅力。
A4 自分の打ったボールを相手は返すことができません。自分の得意になった時は気持ちがいいです。勝った時の達成感も、テニスの魅力です。

| | | | |
|------------------------------------|---------|-----|--------|
| ○第四十七回全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門 競技の部 | 準優勝 | 高3東 | 伏見 由羽 |
| ○第六十四回静岡県吹奏楽コンクール中学生部門 | 中部地区大会 | 高3東 | 伏見 由羽 |
| ○第六十四回静岡県吹奏楽コンクール中学生部門 | B級部門 | 銀賞 | 吹奏楽部 |
| ○静岡県中部高等学校新人体育大会 | テニス競技 | 優勝 | 吹奏楽部 |
| ○全国中学生かるた大会 二年生一般の部 | 第4位 | 高2南 | 成島かれん |
| ○第三十五回湯島天満宮奉納 全国中学生かるた大会 二年生一般の部 | 第4位 | 中二南 | 赤堀 はな |
| ○小倉百人一首競技かるた 第二十五回全国中学生選手権団体戦 | 第4位 | 中二東 | 木脇 寧祐 |
| ○第二十四回大阪国際音楽コンクール 神奈川県地区本選ユース部門自由曲 | ジュニアコース | 金賞 | 競技かるた部 |
| ○第四十二回静岡県学生音楽コンクール ピアノ部門 | 第1位 | 高3西 | 洞 桃香 |
| ○わたしの主張二〇二三 静岡県大会 | 優良賞 | 高2東 | 寺岡倫央菜 |
| ○令和五年度静岡県高等学校新人水泳競技大会 中部地区大会 | 第3位 | 高1東 | 知念なつ莉 |
| ○第四十二回書道公募展 | 奨励賞 | 高2南 | 服部 蓮 |
| ○第五十六回静岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会 | 走幅跳 第1位 | 高2北 | 橋本 詩音 |
| ○第二十四回大阪国際音楽コンクール | 文化奨励賞 | 高2北 | 橋本 詩音 |
| ○静岡県高等学校新人体育大会 テニス競技 | 準優勝 | 中三西 | 洞 桃香 |
| ○第三十九回全国硬筆コンクール | 審査委員会賞 | 高2南 | 成島かれん |
| ○特別国民体育大会 かごしま国体 少年女子共通走幅跳 | 第7位 | 中一南 | 山中美彩貴 |
| ○第四回U十七陸上競技選手権大会 U十六走幅跳 | 第2位 | 高2北 | 橋本 詩音 |
| ○第二十六回東海高等学校新人陸上競技選手権大会 | 走幅跳 第1位 | 高1北 | 石渡 暖乃 |
| | 三段跳 第3位 | 高2北 | 橋本 詩音 |

Q3 好きなスポーツ。
A3 ラケットスポーツが好きです。バドミントンや卓球、テニスなど。剣道も好きです。

Q4 座右の銘。
A4 「人間万事塞翁が馬」です。今この時を、精一杯工夫して生きていくことに繋がっています。

Q5 雙葉生へ一言。
A5 カトリック校で学ぶ6年間は本当に貴重です。思いがけないところでカトリックの考えが突然胸に響いてきたり、助けられたりすることがあります。

京都・奈良を訪れて

社会科による「京都・奈良研修」が9月29日から30日の1泊2日を実施した。中二から高2までの希望者35名が参加した。

1日目は、奈良の法隆寺・東大寺など計五カ所のお寺を訪れた。歴史や

公共の教科書に載っている写真とは比べものにならない程の貫禄と迫力を持つ奈良の大仏や法隆寺などの数多くの歴史的な建物の姿をカメラに収めたり、細かい一つ一つの模様をじっくり見つけた。移動の際は、移り変わる景色と共に、バスガイドさんの関西弁を楽しんだ。奈良公園では歓声を上げながら天然記念物である鹿と戯れた。

2日目は、京都を訪れた。当日の晴天によって一際目立っていた金閣寺など5カ所のスポットを訪れた。

清水寺では、舞台からの絶景や京都ならではの食歩きを楽しんだ。

10月13日、4年ぶりとなる台湾の暁明女子高校と本校高校1年生の交流が行われた。

歓迎セレモニー前半では、記念品の交換、暁明の生徒による台湾について紹介するプレゼンテーション、歌とダンスが披露された。暁明の学校紹介では暁明高校の図書館の大きさや、時間割の仮眠の時間に「いいな」と声を上げる雙葉生もいた。後半は雙葉生による校歌

国を超えた交流



▲ 昼食交流をする高1西の教室

その後、昼食交流し、2時間一緒に授業を受けた。授業中、暁明の生徒は緊張した様子であったが雙葉生が日本語の授業の内容を英語で伝える様子が見られた。休み時間はお互いの国の流行の話題で盛り上がり、繋がりを感じることができた。

横浜 マザー・マチャルド

9月30日に有志の生徒は本校の設立に携わったマザー・マチャルドの活動の足跡を辿る「マチャルドツアー」に参加した。

まず、本校と同じくマザー・マチャルドによって設立された横浜雙葉学園を訪ね、姉妹校との交流を楽しんだ。午後には横濱雙葉の生徒の方とマザー・マチャルドらが眠る外国人墓地に向かい、共に祈りを捧げた。

創立一二〇周年という節目の年に、姉妹校の生徒とマザー・マチャルドに想いを馳せた時間だった。



▲ 入り口での記念写真

青春の軌跡

教師を志した理由。高校生時代にお世話になった部活動の顧問の体育教師に憧れたからです。すでに定年退職され70歳を超えていますが、現在もエアロビ教室を開き、元気に教えています。今でも憧れます。

Q 雙葉で教師になるまでの経歴。
A 大学で体育教育学を専攻し、卒業後すぐに雙葉へ来ました。就職するまで雙葉を知りませんでした。

Q 学生時代の部活動。
A 高校ではバドミントン部、大学ではバスケットボール部に入っています。



▲ 大学時代の築地いそ江先生

両方とも過酷な練習で、目標に向かい共に汗を流し合った友達とは今でも仲間。戦友です。学生時代に戻ったらしたいこと。

Q 高校から大学時代にかけて勉強や部活動を中心としていた生活だったので、それ以外の体験をし、視野を広げる活動をしたいです。

Q 自慢話。
A 大学時代に後輩の自転車かごから財布を奪ったひつたり犯を、サングラスで追いかけて財布を取り戻したことがあります。

新聞部に入部して1年が経とうとしています。部員としてインタビューする中で、様々な人の考え方や生き方から学ぶことがありました。同時にどんな記事にすれば読む人に伝わるかと試行錯誤しながら記事を執筆してきました。来年度も皆さんが読みたくなる記事を目指して頑張ります。

K・H

編集後記

今号は学年で行った鍊成会、研修旅行が1面の記事になっています。雙葉ならではの生き生きとした活動を振り返ってみたい。また、中二以下の生徒の皆さんはちんすこうの記事を沖縄研修旅行のお土産の参考にしてみてはいかがでしょうか。

W・K